

令和6年度 宇治市乳幼児教育・保育協働研修 年間計画

目安となる時期等 初任期(1～6年)・中堅期(7～15年)・充実期(16年以降～)・管理職

(あくまで目安で当該時期以外の方も受講は可能です)

| 区分 | No. | 月日 (予定) | 形式 | テーマ・内容 | 対象者の目安 | | | | 講師 |
|--------------|-----|-------------|----------------------|--|--------|--------|--------|--------|---|
| | | | | | 初 任 | 中 堅 | 充 実 | 管 理 | |
| 乳幼児教育・保育の質向上 | 1 | 5/28 (火) | グループワーク・講演 | 「非認知能力の育ちにつながるアタッチメント(愛着)」 「子どもから学んだこと」をキーワードにエピソードを語り合うとともに、かけがえのない存在である子どものアタッチメント(愛着)について学び合う。 | ○ | ◎ | ○ | ○ | 佐川 早季子 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 准教授 |
| | 2 | 7/22 (月) | 実技研修 | 「創造的な表現活動」 保育者・教師自らが、五感や気持ち、素材、道具を大切にしながら創造的な表現活動を体験する。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 津田 純佳 府幼児教育アドバイザー |
| | 3 | 9/2 (月) | 実技研修 | 「身体表現遊び」 明日すぐに子どもと遊んでみたいくなる、身体表現遊びを体験する。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 本山 益子 府幼児教育アドバイザー 京都文教大学 こども教育学部 教授 |
| | 4 | 11～12月 | 公開保育 (東宇治幼稚園) | 「(仮)学びに向かう力を育む環境とは」【京都教育大学協働研修と合同】 公開保育とその後の協議等を通して、学びに向かう力を育む環境について学び合う。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 未定 |
| | 5 | 1月頃 | 公開保育 (私立幼稚園予定) | 「(未) テーマ」 公開保育とその後の協議等を通して、テーマについて学び合う。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 未定 |
| | 6 | 未定 | 公開保育 (民間認定こども園予定) | 「(未) テーマ」 公開保育とその後の協議等を通して、テーマについて学び合う。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 未定 |
| 連携・接続 保幼小 | 7 | 7/30 (火) | 演習 | 「保育要録・指導要録の書き方と活用の仕方」 具体的な記入例や活用例を通して、伝わる・活かせる要録を目指して学び合う。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 学校教育課指導主事 |
| | 8 | 2学期 | 公開授業 (南部小学校予定) | 「(仮)学びに向かう力を育む環境とは」 公開授業とその後の協議等を通して、学びに向かう力を育む環境について学び合う。 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 未定 |
| | 9 | 2/21 (金) | グループワーク等 | 「幼児教育と小学校教育の接続期カリキュラム」 実践報告・講演・グループ協議を通して、教育・保育の充実につながるための活用できる接続期カリキュラムについて学び合う。 | - | ◎ | ◎ | ◎ | 古賀 松香 京都教育大学 教育学部 幼児教育科 教授 |
| 発達・子育て | 10 | 6/6 (木) | グループワーク | 「保護者の気持ちに寄り添う相談」 子どもの困っている姿に気付き、支え、つなぐために、多様な保護者と接している発達相談員を囲んで互いの悩み等を語り合い、1学期の懇談等に活かせるように学び合う。 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | 保健推進課発達相談員 |
| | 11 | 未定 | 講演・グループワーク | 「宇治市のフォローシステムについて学ぶ」 発達面で支援が必要な子どもとその保護者に対する就学前のフォローシステムについて学び合う。 | | | | | 保健推進課発達相談員 学校教育課指導主事 |
| | 12 | 8/23 (金) | 講演 | 「(未) テーマ」 | | | | | 服部 敬子 京都府立大学 教授 |
| | 13 | 未定 | グループワーク | 「(未) テーマ」 | | | | | 未定 |

※未定の研修につきましては、詳細が決まり次第お知らせします。